

会 議 録

会議の名称		令和8年度 第2回春日学園コミュニティ・スクール協議会	
開催日時		令和8年（2026年）7月7日（火） 開会 14:30 閉会 16:00	
開催場所		つくば市立春日学園義務教育学校 D棟2階多目的室	
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課	
出席者	委員	桐生 修 森田 修司 吉田 和宏 山崎 誠治 樋口 直宏 中根 康貴 間野 聡子 吉田 真由美 東條 三郎 清水 朋子 春日学園 校長 増田 真智子 副校長 加瀬 雄一 教頭 飯田 英路 石宮 かおり 教務 久保 絵美 桃井 澄美 教諭 野中 大河 北原 慎太郎 藤村 直人 奥谷 大樹 南島 遥奈	
	その他	児童生徒会8名	
	事務局	教育局 局長：久保田 靖彦 生涯学習推進課 参事：山口 健次 社会教育主事：柴崎 英二 地域連携教育指導員：酒井 和宏	
公開・非公開の別		☐ 公開 ☐ 非公開 ☒ 一部公開	傍聴者数 0人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第5条第1項（個人情報）に該当する情報が含まれるため	
議題		熟議 「学校を地域に安全に開いていくための手立て」	
会議録署名人		確定年月日	年 月 日
会議次第	1 授業参観 2 開会 3 あいさつ 4 説明・報告事項 ・「春日フェスタ」について 5 熟議：「学校を地域に安全に開いていくための手立て」 6 その他 ・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について 7 閉会		

＜審議内容＞

1 授業参観（14:30～14:50）

樋口会長：

本日は、最初に授業参観に行く。今回はB棟の5年生を参観したのち、A棟の9年生の参観を予定している。

2 開会 (14:55)

樋口会長：

それでは、ただ今から、令和8年度 第2回 春日学園コミュニティ・スクール協議会を開会する。なおこの会議に関しては、つくば市附属機関の会議及び懇談会等の公開に関する条例第3条に基づき、公開とする。

3 あいさつ (14:55～15:05)

樋口会長：挨拶に移る。初めに会長の私から御挨拶させていただく。

- ・5月開催の運動会を参観しての感想
- ・夏休みのこと
- ・本日のコミュニティ・スクール協議会について

会長：続きまして、副会長の桐生委員にお願いする。

桐生副会長：

- ・第1回コミュニティ・スクール協議会のこと
- ・本日のコミュニティ・スクール協議会のこと

会長：続きまして、増田校長にお願いする。

増田委員：

- ・コミュニティ・スクール協議会出席へのお礼
- ・市総体、県南総体、通信陸上等の結果報告
- ・全国大会出場の報告

樋口会長：会議を進行するにあたり書記を決めたい。春日学園の久保委員にお願いしたい。よろしいか。

→承認

それでは、前回に引き続き、つくば市コミュニティ・スクール協議会に関する規則第6条第5項に基づき、春日学園の児童生徒会の8名の協議への参加を提案させていただく。

→承認

4 説明・報告事項 (15:05～15:15)

樋口会長：それでは、今年度の「春日フェスタ」について、ここまで学校側で決定していることを、北原委員にご説明いただく。

北原委員：

- ・テーマは生徒会が中心となって話し合い、「春日万博」に決定
- ・6～9年生は「つくスタ」で学習した内容を、受け手にどのように工夫したら伝わるかを考え、体験等を交えてブース発表をすること
- 【6年生】 追及したいテーマを設定し、グループを組み、研究を進める。
- 【7年生】 6つのゼミに分かれて、研究を進める。
- 【8年生】 「キャリア」に焦点をあてて、年間を通して研究を進める。

【9年生】「夢ピラミッド」を使ったキャリアの研究を進める。

- ・前期課程「学習発表会」について
- ・昼食について
- ・出店場所や時間等について

樋口会長：ただいまの件について、御質問があればお願いします。

質問①：「春日フェスタ」を開催するに当たって、実行委員会や話合いの場があるのか。
→春日学園のPTAが中心となって行っている。地域と保護者との架け橋を担っていきたい。まず保護者に声をかけ、その後地域にも声をかけ広めていく。

→学校の方で進めている学習にも地域の方を紹介してもらった。コーディネートを山崎委員にお願いした。

質問②：地域の出店とはどういうことか。

→昨年度の春日フェスタでは、地域のお店に声をかけた。お米を販売や全体のブースを出してもらった。

質問③：地域からの提案はどこにすればいいか。

→春日学園の保護者を通してPTA本部役員に伝えてほしい。

質問④：話合いの場所がまだ構築されていないのが課題ではないか。

→学校と保護者の話合いの場はある。保護者と地域、学校と地域をつなぐシステム作りが必要になってくる。お互いが負担にならないようにやっていきたい。

→そのシステム作りが必要だと感じている。会議の場や地域の人が入れるような機会を作っていきたい。

5 熟議「学校を地域に安全に開いていくための手立て」(15:15~15:55)

樋口会長：続いて、熟議に入る。熟議を進行するに当たり、ファシリテーターを飯田委員にお願いしたいと思う。皆さん、よろしいか。

では、飯田委員よりよろしくお願いします。

ファシリテーター（飯田委員）：児童生徒は前回の熟議に参加して楽しかった、学校のことを考えて意見を述べられたのが良い経験になったという感想をもったようだ。

熟議では学校を地域に安全に開いていくための手立てについて考えていく。春日フェスタや運動会といった行事のときだけではなく、通常の活動等においても学校を地域に開いていくときにどのような手立てを講じることで安全に活動ができるか話し合っていきたい。まず、オレンジの付箋には予想される危険なことを記入し、その後緑色の付箋に対策を記入してほしい。

- ・各グループでの話合いの時間

- ・まとめ（グループ協議後、各グループの話合い内容を発表する。）

グループ①：【予想される危険】防犯面・怪我・病気

【手立て】見回りを強化する。日常的に地域の方に学習に入ってもらう。顔見知りになる。知らない人が入ってくることは危険なので、事前登録をする。無許可のアップロード禁止の掲示

保健室の場所の明記。医療関係者に協力を仰ぐ。迷子の対応。AEDの使い方の周知。
何か起こったときに声を上げる等、子ども自身が予防できる学習は必須。

ネットリテラシー、個人情報の取り扱いを大人も学ぶべき。

グループ②：【予想される危険】犯罪・SNSトラブル

【手立て】地域の人に学校に来てもらい、大人の目を増やす。人がたくさんいれば、危険な人は来ない。防犯ベストを着用してもらう。抑止力になる。

グループ③：【予想される危険】地域の人かどうか分からない。不審者かも。

【手立て】保護者証や目印をつける。見守りの強化

【感想】春日の生徒の発表が上手。学校に人を入れるリスクを保護者にも投げかける。
外部の方を入れるリスクと近隣のショッピングモールを歩くことのリスクは変わらない
と感じている。

学校はもっとSOSの出し方に関する教育を取り入れていく必要がある。

地域を入れていく必要性の周知

開いていく上で、できる限りの対策をしていく。

ファシリテーター：今回の熟議で話し合ったことは、「春日フェスタ」をはじめ、学校を
開いていく際の参考になると思う。提案いただいたことを安全対策に取り入れていきたい
と思う。

会長：飯田委員、ありがとうございました。

6 その他

会長：最後に御出席の皆様から何かあるか。

→特になし

会長：では、次回の開催予定日等について、飯田委員、よろしくお願いします。

事務局：次回以降の開催日時につきましては、資料の表紙にある通りです。よろしくお願
いします。

7 閉会（15:55～16:00）

会長：本日の「協議」の内容は、以上になる。

本日の写真及び会議録については後日つくば市教育委員会 HP に公開する。規則に基づき
会議録には出席委員の氏名及び発言者の氏名を掲載させていただく。委員の皆様には、会
議録の内容について、後日確認の連絡をさせていただく。

以上をもって、令和8年度 第2回春日学園コミュニティ・スクール協議会を閉会する。

令和8年度第2回春日学園コミュニティ・スクール協議会

日時：令和8年7月7日（火） 14：30～16：00

場所：春日学園義務教育学校 D棟2階多目的室

次 第

1 授業参観

2 開 会

3 あいさつ

4 説明・報告事項

・「春日フェスタ」について

5 熟議 15：15～15：50

・「学校を地域に安全に開いていくための手立て」

6 その他

・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について

7 閉会

◎コミュニティ・スクール協議会の今後の予定
第3回：9月14日（月） 15：00～16：30
第4回：2月17日（水） 15：00～16：30
（春日フェスタ：10月25日（日）実施予定）